

2022. 7. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行
TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：8月2日（火）11:00～11:20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：6組

《7月のおはなし会で使った本》

『ばけこちゃんのたなばた』 荻田澄子/脚本 童心社 2017.7

『パンダなりきりたいそう』 いりやまさとし/作 講談社 2016.10

『どうぶつたいじゅうそくてい』 聞かせ屋。けいたろう/文 アリス館 2019.11

○申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2111 FAX:083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『ずぼっじー』 高橋祐次/作 講談社 2022.5 ¥1200

ふかふか、さらさら、じゃりじゃりの砂場に、指を「ずぼっ」とつつこんで、「じじじ じー」と線をかいてみよう。シャベルはよけて、石もよけて、みみずといっしょによろよろいこう。あぶない、穴がある！そーとよけたら、今度はバケツの水がじゃぶじゃぶ。さらに進んでいくと…？指でなぞって楽しい、まるで砂遊びをしているかのような新感覚の絵本。

『いいいろふうせんや』 たなかしん/著 早川書房 2022.4 ¥1300

風船をくぼる子ペンギン。きいろいキリンにはきいろい風船、あおいゾウにはあおい風船、ももいろフラミンゴにはももいろの風船、しろいアルパカにはしろい風船、むらさきへびにはむらさきの風船。「ぴったり ぴたんこ ありがとう」とみんなにっこり。海の砂を使った独自の画法で描かれ黒地にカラフルな色彩が映える。色に興味をもちはじめた赤ちゃんの好奇心を刺激する絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『おぼけのかわをむいたら』 たなかひかる/著 文響社 2022.6 ¥1150

バナナのようなおぼけのかわをむいたら、出てきたのはおすもうさん！みかんのようなまるいおぼけのかわに、親指をぶすりとさしてかわをむいたら、でてきたのはブタ！くるみのような殻のおぼけをパキッと割ると、中から出てきたのはライオン！豆のさやのようなおぼけ、いがいおぼけ、いろいろなおぼけのかわをむいたら、何がでてくる？シュールで面白くてクセになる絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『くみたて』 田中達也/作 福音館書店 2022.6 ¥1400

分解された日用品のパーツをミニチュアの作業員たちがせっせと組み立てる。完成したせんたくばさみはブランコに、歯ブラシは街灯に。分解された日用品を組み立てて出来上がったものをミニチュアの世界ではどう使う？タイトルに込められた「組み立て」と「見立て」で想像力がふくらむ。国内外で活躍するミニチュア写真家、見立て作家の田中達也による初めての絵本。

『2匹のカエル』 クリス・ウォーメル/作・絵 はたこうしろう/訳 徳間書店 2022.5 ¥1800

大きな池の睡蓮の葉っぱの上の2匹のカエル。1匹はぼうきを抱えている。「なんでそんなぼうきを抱えているのさ？」と1匹がきくと、「こりや犬よけぼうだ。犬のやろうがとびかかってきたらこのぼうで、バンバン！ってやっちまうってわけさ」と2匹のかげあいが始まり…。リアルなタッチの画とユーモアあふれるお話とのギャップが楽しい読みきかせにもおすすめの絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『ことばコレクター』 ピーター・レイノルズ/作 なかがわちひろ/訳 ほるぷ出版 2022.5 ¥1500

ジェロームは「ことば」のコレクター。ひびきのきれいなことば、本から集めたことば、声に出して楽しいことば、思わず絵を描きたくなっちゃうことば…。集めたことばをスクラップしていたが、ある日、すってんころりん、転んだひょうしに集めたことばがシラバラに…。ことばのもつ力、面白さ、ことばで自分の気持ちや考えを伝えることの大切さを描いた絵本。ラストも秀逸。

<読み物-小学校低学年から>

『ともだちはしおりのこぶた』 真山みな子/作 山西ゲンイチ/絵 金の星社 2022.4 ¥1300

まゆは、ママに本を読んでもらうのが大好きな小学1年生。図書館で少し長いお話の本を借りるとぶたの絵のしおりをもらった。初めて一人で本を読む子が使うと、しおりに描かれた動物は、飛び出してしゃべったり動いたりすることができる。飛び出したのはこぶたの「ぶーもん」。まゆと一緒に本を読んでいくと…。絵本から幼年童話へと読書のステップアップにおすすめの物語。

『おじょうさま小学生はなこ VS ダブルブックング』 川之上英子・川之上健/作・絵 岩崎書店 2022.5 ¥1100

ひらひらのドレスを着て、お城のようなお家に住んでいる、おじょうさま小学生、はなこ。男の子たちに誘われた野球と、じみ子ちゃんの誕生日会の約束がダブルブックング。どちらを選ぶのか、はなこにとっては大問題。悩んだ末にヘリコプターで駆け付けたのは…。高飛車なはなこが、色々な友達と関わりながら、小学生として成長する様子をコミカルに描く物語。シリーズ第3弾。

<読み物-小学校中学年から>

『ママがブタになった日』 南田幹太/作 藤本ともひこ/絵 講談社 2022.2 ¥1300

てっちゃんママが飲んだダイエットサプリ。見ると「飲んでからすぐ横になって、ブタになるケースが多数、報告されています。」の注意書きが。読んでいないママはブタに…。だらしのない日頃の様子もハッキリ注意されたママと家出することになったてっちゃん

は、同じくママがブタになったカコちゃんとともに元に戻す方法を探すことに。ユーモアたっぷり、笑顔たっぷりの物語。

<読み物—小学校高学年から>

『コカチン』 佐和みずえ/作 トミイマサコ/絵 静山社 2022.4 ¥1400

ユーラシア大陸の東西にまたがる大モンゴル帝国を治めるフビライ・ハンの末娘コカチン。明るく聡明でじゃじゃ馬ともいわれるその少女は、ある日西方の国を治めるアルグン王の花嫁に抜擢される。嫁ぎ先へは過酷な船旅を強いられる。荒ぶる海賊、鬼女の住む島…。あらゆる試練を乗り越える中、育まれるある人への思い。勇気と恋と大冒険、史実に着想をえた創作物語。

『スカンダーと奪われたユニコーン』 A.F.ステッドマン/著 金原瑞人・吉原菜穂/訳 潮出版社 2022.5 ¥2000

13歳の男の子スカンダー・スミスが目指すのは、角と翼を持つ馬、ユニコーンを乗りこなすユニコーンライダー。ユニコーンライダーは選ばれた者しかいないうえ、過酷な訓練を乗り越えなければならない。家族の応援を心の糧に過ごす訓練の日々。スカンダーと絆で結ばれたユニコーン、ともに切磋琢磨する仲間たちで綴られる長編ファンタジー。作者のデビュー作。

<読み物—中学生から>

『スペシャルQ トなぼくら』 如月かずさ/著 講談社 2022.4 ¥1450

宮地直行は中2でサッカー部、嘘のつけない性格で、ゲームでも周りをごまかせない性格。ある土曜の昼過ぎ、塾の帰り道に目撃したのは、同級生で優等生の久瀬優英がメイクをして、かわいも服に着替えて街を歩く姿。すると、直行自身が忘れかけていたかわいもものが好き、という感情が沸き上がり…。自分の好きなものに向かい合う中で、新しい人間関係を築いていく物語。

『13枚のピンぼけ写真』 キアラ・カルミナーティ/作 関口英子/訳 岩波書店 2022.3 ¥1700

イオランダは、出稼ぎの両親と共にオーストリアで暮らす13歳の少女。第1次大戦が始まったため生まれ故郷の北イタリアに戻るが、途中、母とはぐれてしまう。命の危険にさらされながらも妹と旅を続け、新たな出会いを重ねながら生き抜いていくイオランダ。厳しい環境にありながら家族や幼馴染を思い続ける様子は、現代と重なる。イタリア文学最高峰ストレーガ賞児童書部門受賞作。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『かっぱのふうちゃんライフジャケットでスイスイ』 森重裕二/文 市居みか/絵 子どもの未来社 2022.5 ¥1300

海や川で泳いでみたいかっぱのふうちゃんに、ライフジャケットの必要性や正しい着用の仕方、水辺で遊ぶ時の約束「お・さ・ら」を楽しく紹介。元小学校教諭で、ライフジャケットの必要性について世の中に広げる活動をしている筆者が、専門家達と協力して描く水辺の安全を伝える絵本。水の事故に遭遇した時の対応も解説。見返しにかっぱのふうちゃんのテーマソングの楽譜あり。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『ブックウィング』 ふじもとみさと/文 黒須高嶺/絵 文研出版 2022.4 ¥1500

数多くの人を取材し、温かい視点で綴られる文章に定評のある筆者が、iPS細胞の研究でノーベル賞を受賞した京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授の人生や志を描いた絵本。入院する女の子ミシェルと山中との視点で、医学を目指すきっかけや、iPS細胞の発見に至るまでの苦労を描く。英文併記。巻末に山中伸弥教授から子どもたちにむけてのメッセージ付き。

『社会科はおもしろい!ランキング! 1令和版』 教育画劇 2022.2 ¥3500

社会科の学習内容に沿ってランキングを発表。見返しには、グラフの表し方や様々な種類のグラフの読み取り方を説明。シリーズ1は、くらしと産業にまつわるランキングを紹介。米の取れ高、漁港の水揚げ量、一般廃棄物のリサイクル率(ベスト1は山口県)等。それぞれの項目の解説も分かりやすく、関連情報も豊富に掲載。自主学习にもおすすめ。令和版全4巻。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『戦争と平和の船、ナッチャン』 半田滋/著 講談社 2022.4 ¥1400

津軽海峡の定期便として就航した観光フェリー「ナッチャンワールド」。しかし利用者の減少、燃料高騰に伴い定期運航は廃止、代わって運ぶようになったのは戦車や装甲車、自衛隊員達…。防衛ジャーナリストである筆者が、自衛隊に貸与され救援物資の運搬や訓練のための輸送に使われる実在するフェリーの視点から描くノンフィクション。平和な日常に潜む戦争について考える一冊。

<ノンフィクション—中学生から>

『14歳からの文楽のすゝめ』 竹本織太夫/監修 実業之日本社 2022.4 ¥1900

江戸時代の大阪で誕生した人形浄瑠璃=文楽は、太夫(語り)・三味線・人形遣いの三つの芸が一体となった、世界に類を見ない舞台芸術。本書では六代目竹本織太夫が文楽の歴史、舞台を作り上げる人々について豊富な図解を使って分かりやすく解説。2章では、恋愛や友情など、身近な人間関係の悩みを解決するヒントとして文楽の名作を紹介。文楽に対する意識を大きく変える1冊。

『空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士』 斉田季実治/著 PHP研究所 2022.4 ¥1300

新聞やテレビだけでなく、スマホのアプリでも天気予報を知ることができる現代において、気象や防災に関する情報はとても身近な存在に。朝ドラ『おかえりモネ』の気象考証を担当したNHK気象キャスターが、自身の経験をもとに、気象予報士の仕事内容や気象観測の未来について解説。最終章では、将来のビジョンが浮かんでこないという人へ、参考となるメッセージもあり。

<研究書>

『絵本のつぎに、なに読もう? 幼年童話と過ごした日々』 越高綾乃/著 かもがわ出版 2022.6 ¥1500

著者は長野県松本市の児童書専門店「ちいさいおうち」の一人娘であり、広報担当。自身が慣れ親しんだ童話作品から選んだ16点について、当時の気持ちを丁寧に掘り下げ、文章化。2021年5月開催の「たかさき絵本フェスティバル」のトークイベントに著者と共に参加した「ななちゃん」との新たな対談も、子どもの素直な言葉として楽しめる。現在入手できない作品は巧みに掲載。

『北海道の児童文学・文化史』 日本児童文学学会北海道支部/編著 共同文化社 2022.2 ¥3500

1868年に北海道開拓使が設置されて以降、約150年間の北海道の児童文学・児童文化史を網羅した論考44本を15章に分類して収録。年表、関係者一覧、函館児童雑誌コレクション収録作品リストなど、日本児童文学学会北海道支部の会員が26年かけて調査・研究してきた成果が顕著で、データベースとしても活用できるリストを多数掲載。巻末に人名索引・事項索引あり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

